

	3-7K X NU	110-73	, ,					
基本	事項					整理	工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	281
事業名	精神障害者社会参加促進事業補助金			予	会計	一般会計・1		
尹 未 口	作用作	""" " " " " " " " " " " " " " " " " "	学未附则亚	算科	款	民生費・3款		
担当部課名	健康	建康福祉部 福祉課			項	社会福祉費・	1項	
電話	0799	9-44-3002	目	目	障害者福祉費	1・2目		
事業分類	✓	義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等) ^障 害者			4 中 士 士 採 计		
争未刀积		任意的(自治)事務				舍者自立支援法		
		まちづくりの柱	人づくり知恵あふれ郷土愛が満ちるまちづくり					
南あわじ市総で	合計画	まちづくりの目標	喜びあふ	れるまな	5【生きがい】			
施策体系	施策目標		仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ					
		ルスロ信	活動を盛んに	する				
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業	务委託	負担:	金補助

Plan (計画、事業内容、事業背景)

	ı ıaıı	(III) T	
		対象 (誰を・どのような状況の人に))
		在宅の障害者及び地域住民	対象人数(人)
	B		420
		意 図 (どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的	1.を記入)
		障害者の需要に応じた事業を実施することにより、障害者の自立と社会参	
	的	図るとともに、地域住民にも参加を呼びかけ、障害者との交流や、精神障害	の理解浸透
		を図ることを目的とする。	
事		・社会生活技能訓練・レクリエーション 月1回 2時間	
MIN		・パソコン教室 月2回 2時間	
業	実	・草木染め 2月1回 2時間	
概	施 内		
	容		
要			
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体	の動向など)
		障害者自立支援法に規定される地域生活支援事業の一事業として文化講座	
	背	ている。	
	月		
	景		
	事	美実施主体 市直営 ✓ 民間・その他 ()
		事業期間	設定なし
合		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
合併協議	✓	旧緑町 ☑ 旧西淡町 ☑ 旧三原町 ☑ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □	新市から
議			
事			
務			
務調整内			
内			
容			

Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

	D0 (事業	活動・放着	不、汉八兵	[源・コス	1)	I 4	七冊出台			
		指標名	社会参加促進事業参加者				指標単位			
		指標説明 (指標算出 方法等)	各講座への参加者数							
#	業に対する		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
目標の設定		目標値	420	420	420	420	420			
		実績値	349	349	326					
		達成度 (%)	83.1	83.1	77.6	-	-			
		目標値設定 の考え方		構座等開催回数 × 10人						
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	直接事業		400	400	400	400	400			
	精神障害者社会参	加促進事業補助金	400	400	400	400	400			
資										
源		原 (千円)								
配		玉	144	174	150	138	141			
分		?	72	87	75	69	71			
7		.債								
1 ン		D他 +XETAI	404	400	475	100	400			
プ	- [/] //// [/ X//		184	139	175	193	188			
Ÿ		战員)[B] (千円)	112	0 28.2	0 27.4	<u>0</u> 26.8	26.8			
-	平均人件費	(「ロヨリ) に要した日数)	27.9 2	28.2	21.4	∠0.8	∠0.8			
)		に要した口数)	2							
	事業里 2 (事業 年間経費		296	139	175	193	188			
	「目的」対象人数1/	`	703.8	331.0	416.7	459.5	447.6			
	経費に関する補足説明	(1.57			手度は当初予算 手度は当初予算					

Check (事業の自己評価・一次評価)

			3.評価・ <u>-</u>	<u> 次評価)</u>	- L	\ /-	元子 22左京	T	
		単位	平成20年度				平成23年度	半成2	24年度
	目標達成度	%	83.1	83.	1	77.6	-		-
	(事業目標の達成度を	が析、問:	題点・課題なと	ごを記入。)					_
	┃ より多くの参加を	目標に	していたが、	障害の特性が	\ら勘案し	て妥当	iな結果であっ	った。	(5己
達			·					-	5 년
成度									点評
度									し 価
									3
									•
	(た兄送兄弟の公托	明明上	. =田田百+> ビナニ	1 λ \					
	(住民満足度の分析、			,					白
	│ 障害の特性により	、梦川	有剱か減少の	傾回にめる。					自己評
 ≠									占輕
有効性									○ 価
ᄴ									О іщ
性									
									2
									3
		単位	平成20年度	平成21年月	₹ 平成22	2年度	平成23年度	平成2	4年度
	事業単価	円	703.8	331	.0	416.7	459.5	5	447.6
	(効率性・コストの分析	、問題:		記入。)					
	経費の減について				ため 難	1,1,1,2	考える。		(3)
効 率 性		ICA (IFF)		XXIC 0 X117 6	, , C 0) \ , , µ		. 5/200		5 己
率									点評
性									○ 価
									4
									•
	公共性の高低	V	÷ ¬	中	低	_			
			<mark>高 </mark> し Lかどを分析 し)			
	(公共性、市民ニーズ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		ワが雑しいと	シ ラ	自
	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	自己
必	(公共性、市民ニーズ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	自己評
必要:	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評) 価
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ	緊急性	tなどを分析、	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。	緊急性	±などを分析、 ∳を活用し実施	問題点·課題	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評) 価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を	緊急性ティア等	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析	問題点・課題が	よどを記入。		呆が難しいと	考え	点評) 価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確 [†]	呆が難しいと	考え	点評) 価
必 要 性 	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	よどを記入。	京の確 [†]	呆が難しいと	考え	点評) 価
必 要 性 	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分		考え	点評) 価
必 要 性 	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分	_{呆が難しいと} 達 <u>成度</u>	考え	点評) 価
必 要 性 	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分		考え	点評) 価
必要性	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分		考え	点評) 価
	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分		考え	点評) 価
	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事の障害	などを記入。 業で、財源	京の確分	達成度 5 4 4 3 2	考え	点評) 価
	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確分			3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源	京の確分	達成度 5 4 4 3 2	考え	3
	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確分	達成度 5 4 4 3 2		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確分	達成度 5 4 4 3 2		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確分	達成度 5 4 4 3 2		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確分	達成度 5 4 4 3 2		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確 フー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成度 5 4 3 2 1		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確 フー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成度 5 4 4 3 2		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確 フー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成度 5 4 3 2 1		3
総合評	(公共性、市民ニーズ NPO法人がボランラ る。 自己評価を 障害による参加者 者の社会参加に欠か	緊急性 ティア等 ふま え 数の変	などを分析、 まを活用し実施 た現状分析 動等あるもの	問題点・課題があっている事のでである。	などを記入。 業で、財源 評価グラ	京の確 フー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成度 5 4 3 2 1		点評 3

Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善	·改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革				
	✓ 現状維持	事業統廃合	✓	現状維持	休止·廃止 [事業統廃合	
<u>^</u>	□ 予算充実 □ 予算削減 □	手法見直し		予算充実	予算削減 [手法見直し	
今後の方向性とその理由	地域支援事業の補助事業である	ため、法改正	同左				
စ်	等による変更等も考えられるが、 ズに応じた文化・創作活動等をす の自立と社会参加の促進を図る必	障害者のニー					
方	人に心しに又化・剧TF活動寺です の白立と社会参加の促進を図る心	∈施し、障害有 公要がある					
自血		72110000					
性							
そ							
စ်							
理							
由							
現							
具状							
体維							
的持な以							
改外							
善の							
方場							
法合							
					果(アウトカム) 置	in and the second	
	※※() / 1 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2			NJ 2	K()) NA)	щ.	
⊒ <i>l</i> -7							
華二							
に場							
よ雑							
っ持							
改善によって期待される (現状維持以外の場合	コスト面				コスト面		
待の							
りは場							
る合							
合)果							
果							
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予	則される影響(プラ	ス面、	マイナス面)			
現	増加傾向である精神障害者の数						
中状	きこもりの誘発や症状の悪化のi がたくなる。	」能性がある。ま	また、	地域住民の障	達害に対する 埋	単解浸透が図り	
止維・持	がだくなる。						
統の							
廃場							
合合							
のも 影記							
響入							